

優秀賞

D2 チームは、大規模言語モデル (Large Language Models, LLM) を導入することにより、ソフトウェア開発におけるレビューやフィードバックの効率化に取り組みました。レビューやフィードバックの対象となる要求定義書、設計書、ソースコードは、日本語や英語などの自然言語、UML などのモデリング言語、プログラミング言語などで記述され、レビュー時やフィードバック時の議論は自然言語で行われます。

D2 チームの第一の貢献は、LLM を導入することにより言語という共通の切り口でソフトウェア開発を支援できることを実証した点です。この観点は今後のソフトウェア開発に対して重要な示唆を与えるものと言えます。

D2 チームの第二の貢献は、この考えを現実のものとするため LLM ベースのマルチエージェントフレームワークを適用し、次世代のソフトウェア開発支援の自動化に取り組んだ点です。マルチエージェントによる自動化は研究論文レベルでは存在するものの、現場のソフトウェア開発に適用しようという試みは世の中にはほとんどありませんでした。

今後、D2 チームのメンバーがトップエスイーで培った経験を各自の会社に持ち帰り、それぞれの部署で LLM 利活用のリーダ的存在になっていただけることを期待しております。

以上を高く評価して優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一